

2012年3月期 当期の業績説明(第2・第3四半期)と 今後の戦略・方針について

代表取締役社長 近藤 保



2012年3月期 第2四半期決算業績説明

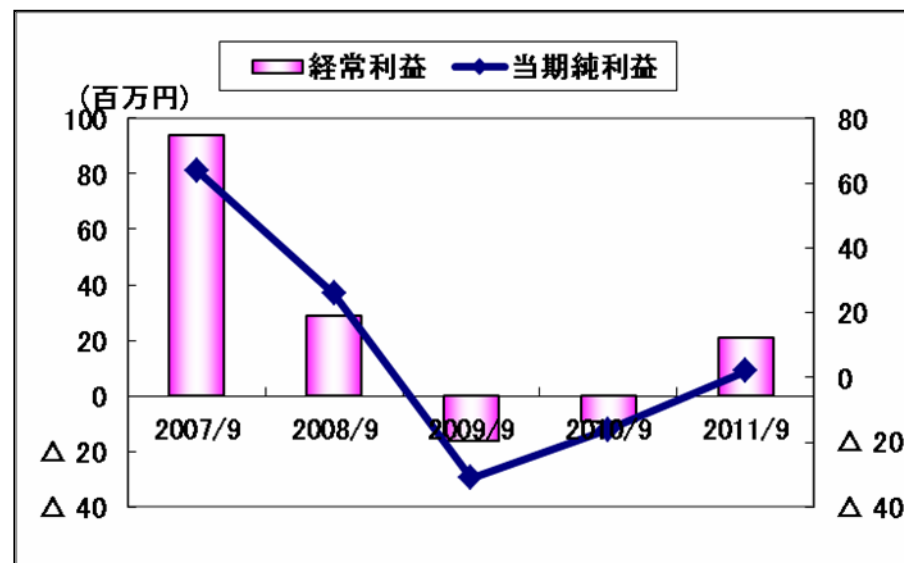
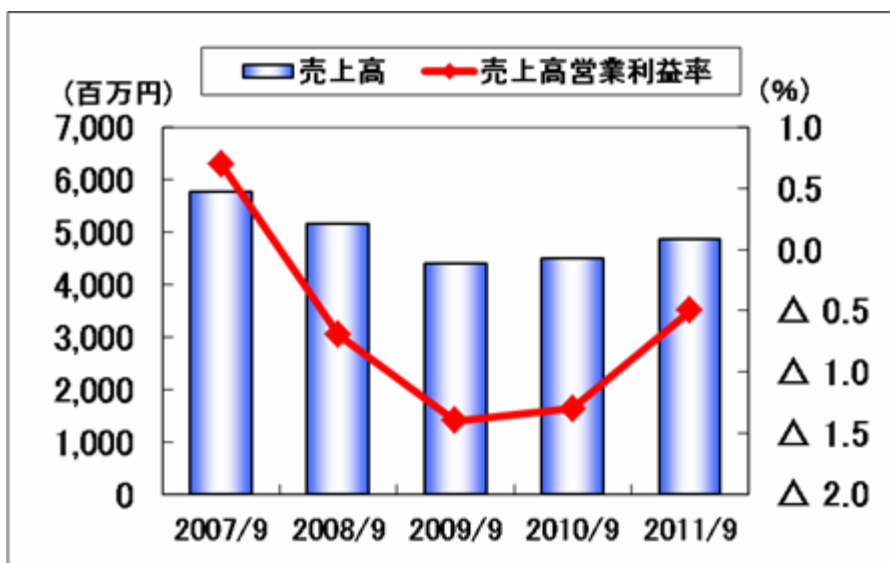
比較損益計算書(中間期)

	前期実績	当期予想	当期実績	前期比	当期予想比較
売上高	4,507	4,960	4,880	8.3%	-1.6%
営業利益	△ 58	△ 20	△ 24	-	-
経常利益	△ 9	17	21	-	24.4%
純利益	△ 16	8	2	-	-69.5%

(注)当期予想は2011年07月26日付け第1四半期短信発表時の数値

業績推移

	2007/9	2008/9	2009/9	2010/9	2011/9	増減額	前期比
売上高	5,762	5,150	4,405	4,507	4,880	373	8.3%
営業利益	38	△ 36	△ 62	△ 58	△ 24	33	-
売上高営業利益率	0.7	△ 0.7	△ 1.4	△ 1.3	△ 0.5	0.8	-
経常利益	94	29	△ 16	△ 9	21	30	-
売上高経常利益率	1.6	0.6	△ 0.4	△ 0.2	0.4	0.6	-
当期純利益	64	26	△ 31	△ 16	2	19	-
売上高当期純利益率	1.1	0.5	△ 0.7	△ 0.4	0.1	0.5	-

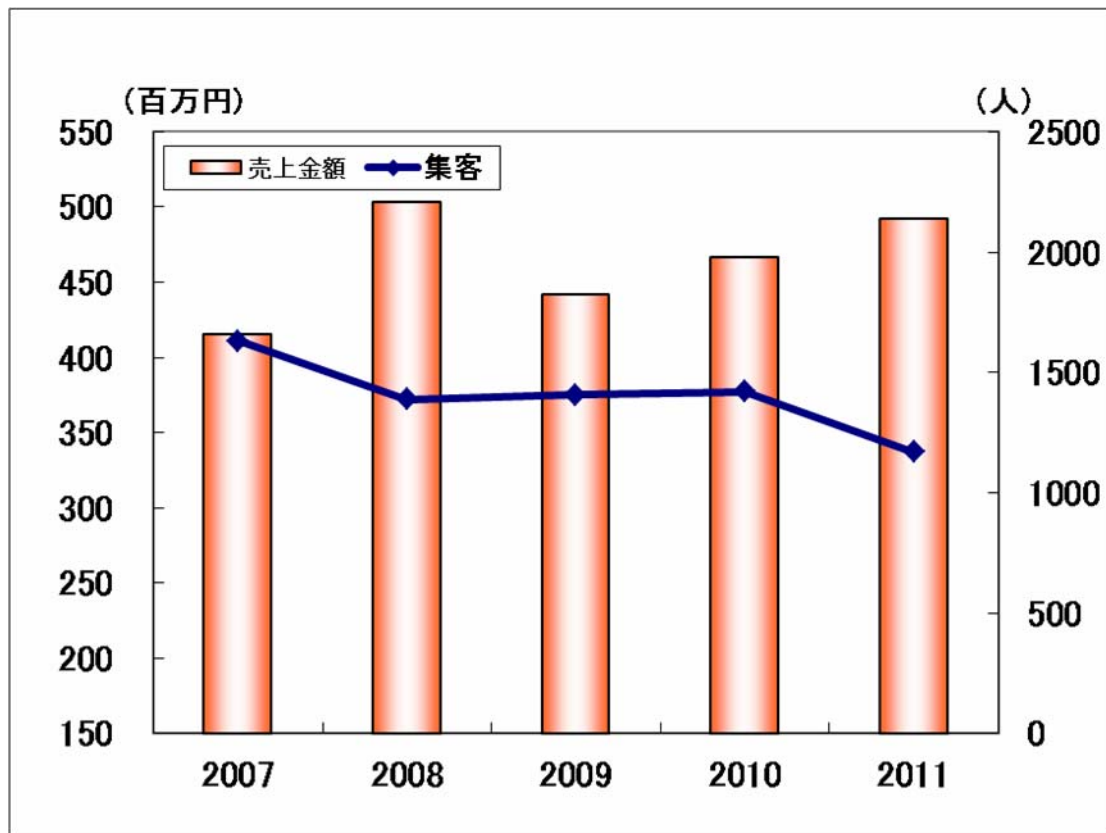


比較貸借対照表

	2009/9	構成比	2010/9	構成比	2011/9	構成比
流動資産	3,681	76.9%	3,662	77.7%	3,828	78.1%
固定資産	1,103	23.1%	1,048	22.3%	1,073	21.9%
(資産の部)計	4,784	100.0%	4,711	100.0%	4,901	100.0%
流動負債	2,684	56.1%	2,615	55.5%	2,774	56.6%
固定負債	175	3.7%	172	3.7%	190	3.9%
(負債の部)計	2,859	59.8%	2,787	59.2%	2,964	60.5%
資本金	611	12.8%	611	13.0%	611	12.5%
資本剰余金	691	14.5%	691	14.7%	691	14.1%
利益剰余金	632	13.2%	635	13.5%	648	13.2%
自己株式	△ 7.7	△ 0.2%	△ 8.3	△ 0.2%	△ 8.4	△ 0.2%
その他有価証券 評価差額金	△ 2	△ 0.1%	△ 7.6	△ 0.2%	△ 6.9	△ 0.1%
(純資産の部)計	1,925	40.2%	1,923	40.8%	1,937	39.5%
(負債・純資産)計	4,784	100.0%	4,711	100.0%	4,901	100.0%

2012年3月期 第3四半期決算業績説明

2011年度 AIKOフェスタ 2011.10.16開催



会場の様子 大磯ロングビーチにて



オークションの様子

オークションでの収益金・会場での募金は
全額義援金として福島県災害対策本部へ寄付さ
せていただきました。ありがとうございました。

比較損益計算書(第3四半期)

(単位:百万円)

	2011年3月期 第3四半期	2012年3月期 第3四半期	増減率	2012年3月 決算<予想>
売上高	7,001	7,370	5.3%	10,400
営業利益	△ 44	△ 27	—	5
経常利益	25	40	57.3%	80
当期純利益	0	1	161.3%	40

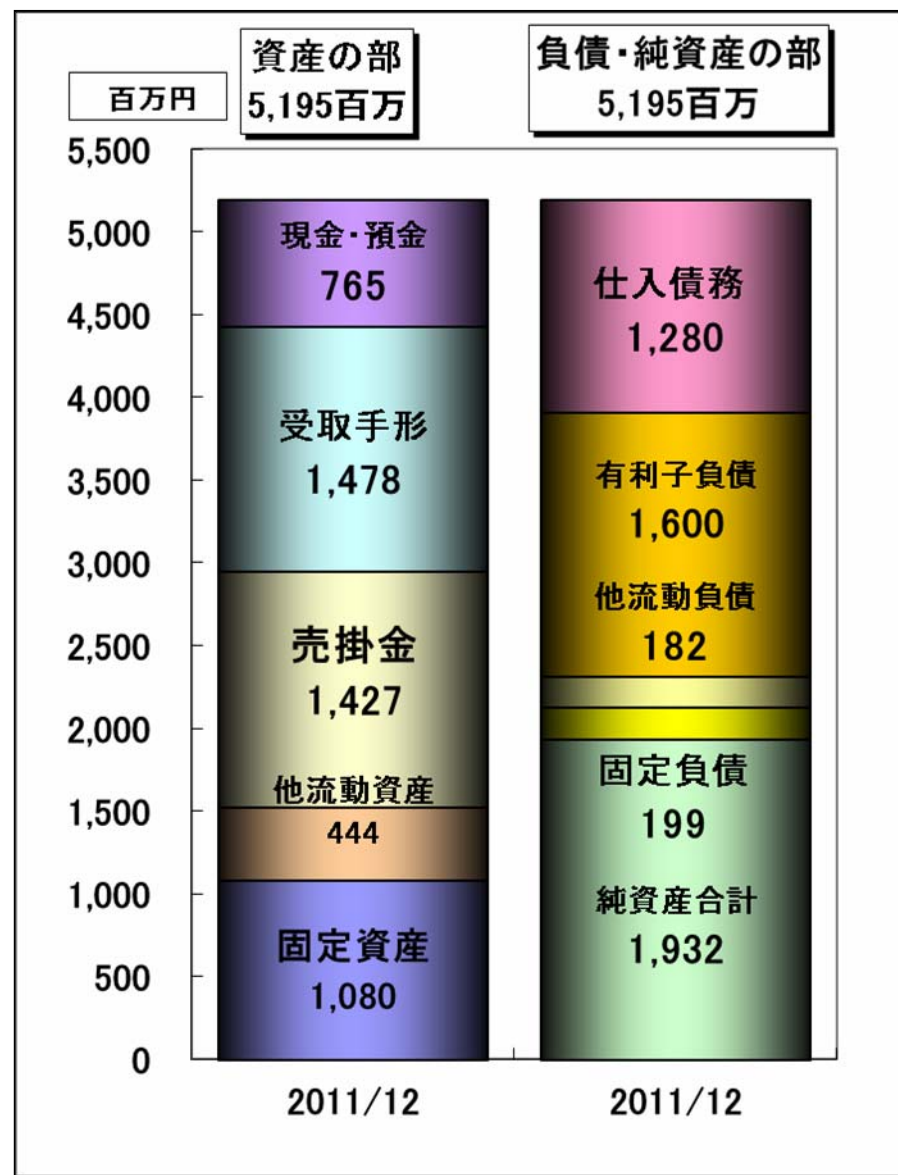
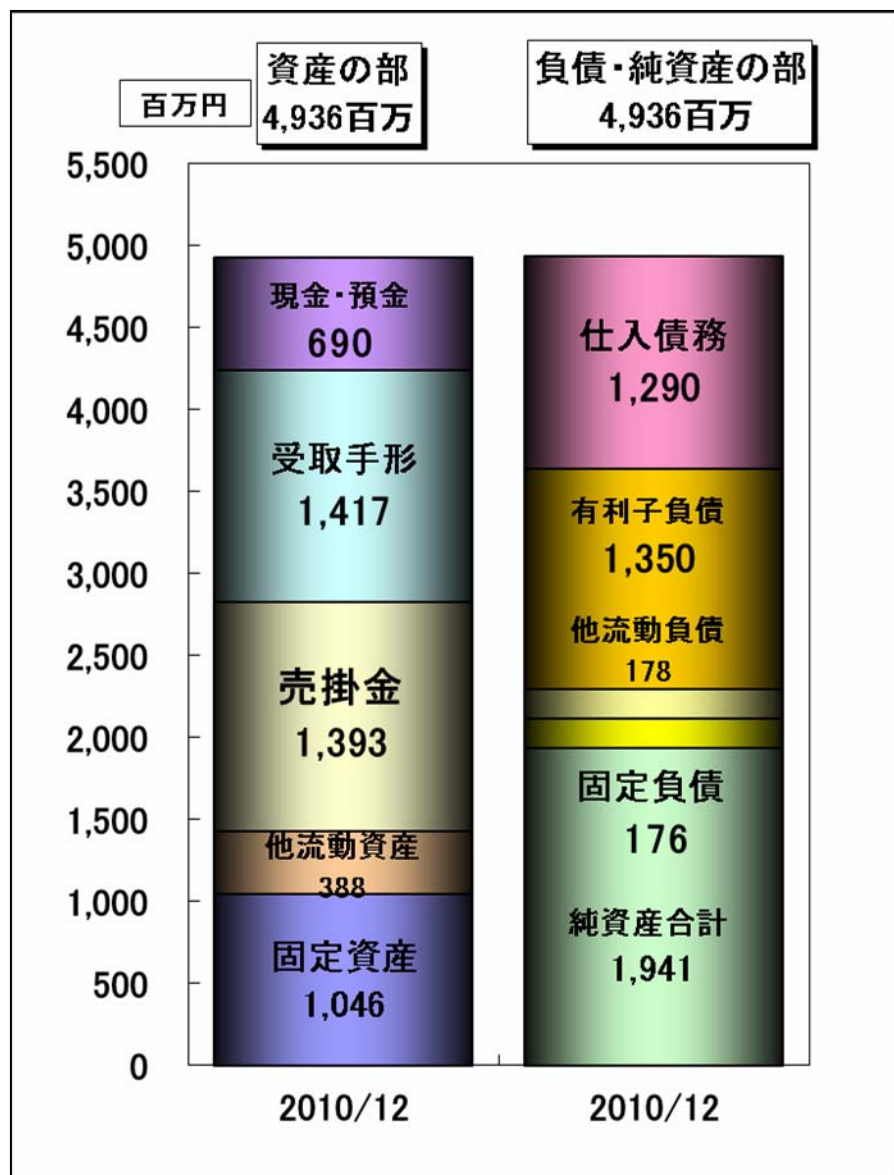
(注)通期予想は2012年01月20日付け第3四半期短信発表時の数値

比較貸借対照表

(単位:百万円)

	2009/12	構成比	2010/12	構成比	2011/12	構成比
流動資産	3,777	77.6%	3,889	78.8%	4,115	79.2%
固定資産	1,090	22.4%	1,046	21.2%	1,080	20.8%
(資産の部)計	4,868	100.0%	4,936	100.0%	5,195	100.0%
流動負債	2,764	56.8%	2,818	57.1%	3,063	59.0%
固定負債	173	3.5%	176	3.6%	199	3.8%
(負債の部)計	2,938	60.3%	2,995	60.7%	3,262	62.8%
資本金	611	12.6%	611	12.4%	611	11.8%
資本剰余金	691	14.2%	691	14.0%	691	13.3%
利益剰余金	637	13.1%	652	13.2%	647	12.5%
自己株式	△ 7.8	△ 0.2%	△ 8.0	△ 0.2%	△ 8.7	△ 0.2%
その他有価証券 評価差額金	△ 3	0.0%	△ 6	△ 0.1%	△ 9	△ 0.2%
(純資産の部)計	1,930	39.7%	1,941	39.3%	1,932	37.2%
(負債・純資産)計	4,868	100.0%	4,936	100.0%	5,195	100.0%

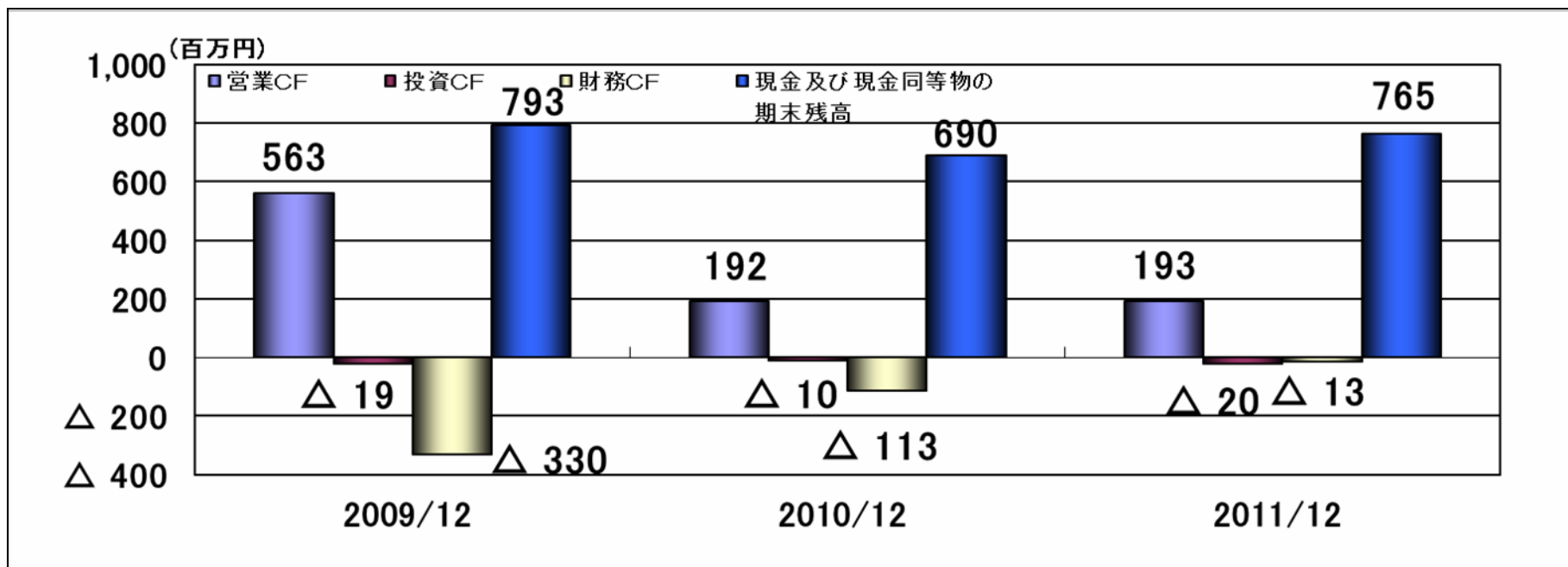
比較貸借対照表 資産の部、負債・純資産の部(前期比)



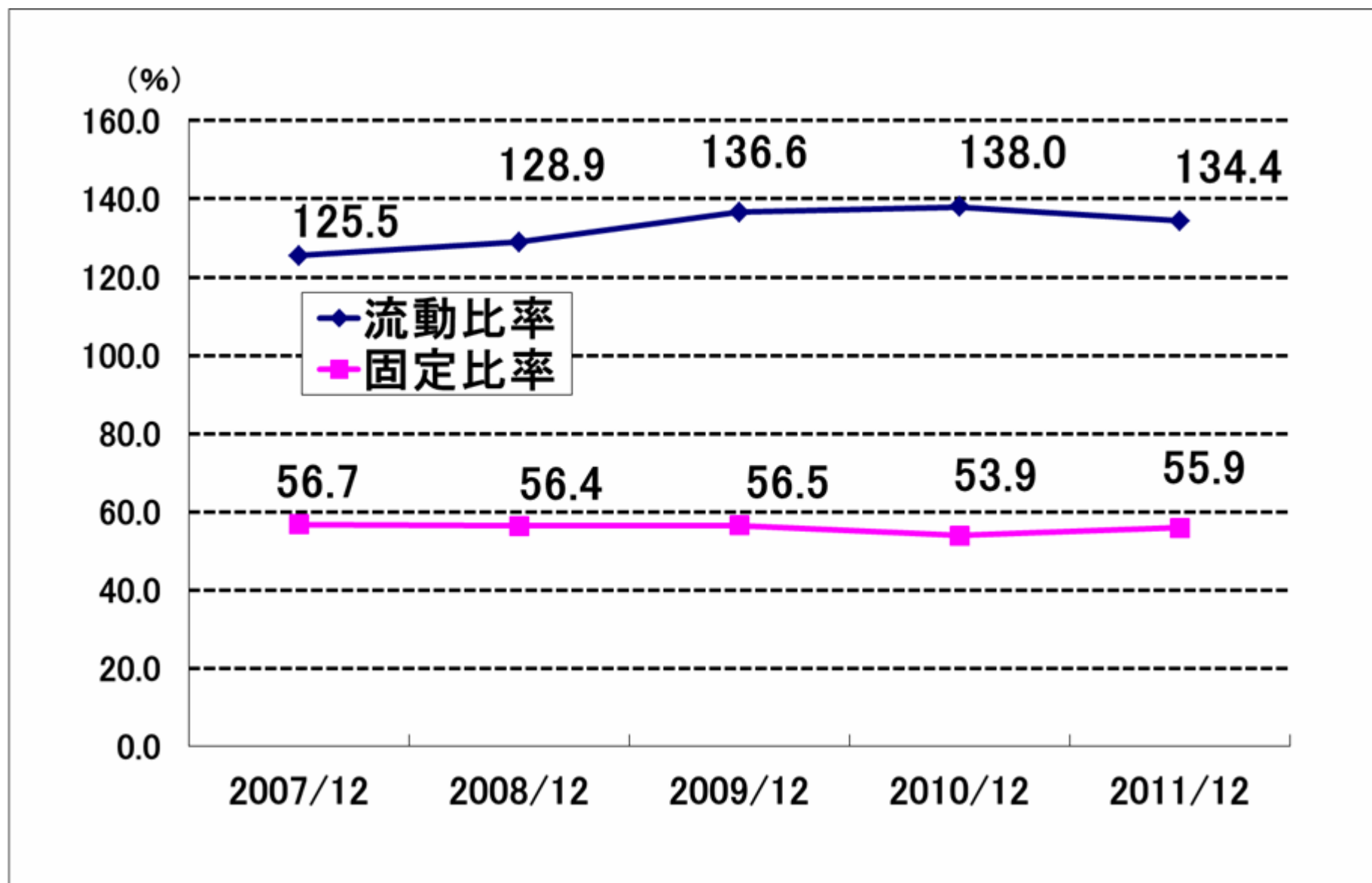
キャッシュフロー

(単位:百万円)

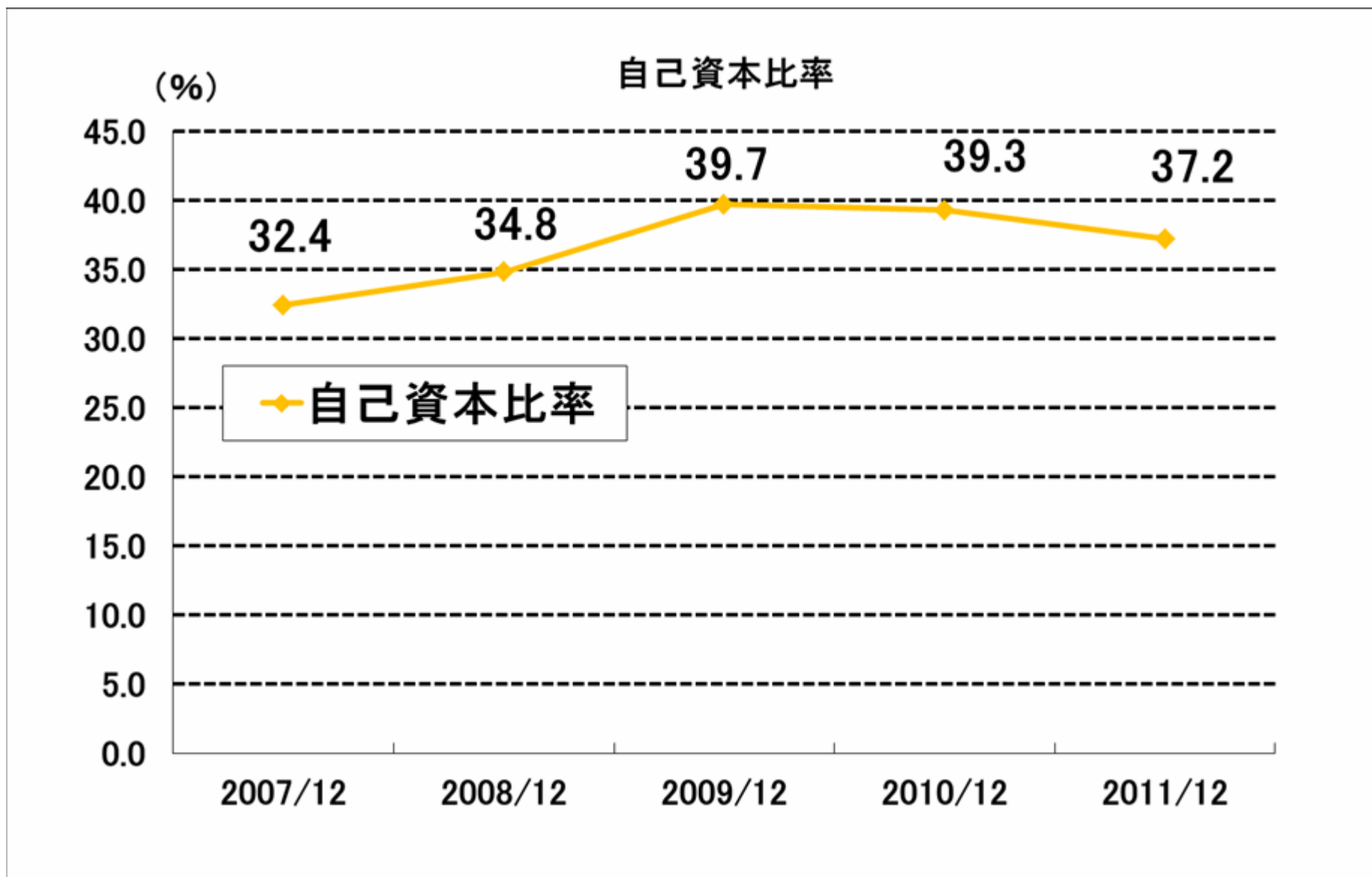
	2009/12	2010/12	2011/12	当期の主な要因
営業活動による キャッシュフロー	563	192	193	売上債権の回収
投資活動による キャッシュフロー	△ 19	△ 10	△ 20	有形固定資産の取得による支出
財務活動による キャッシュフロー	△ 330	△ 113	△ 13	配当金の支払
現金及び現金同等物の 期末残高	793	690	765	



流動比率・固定比率



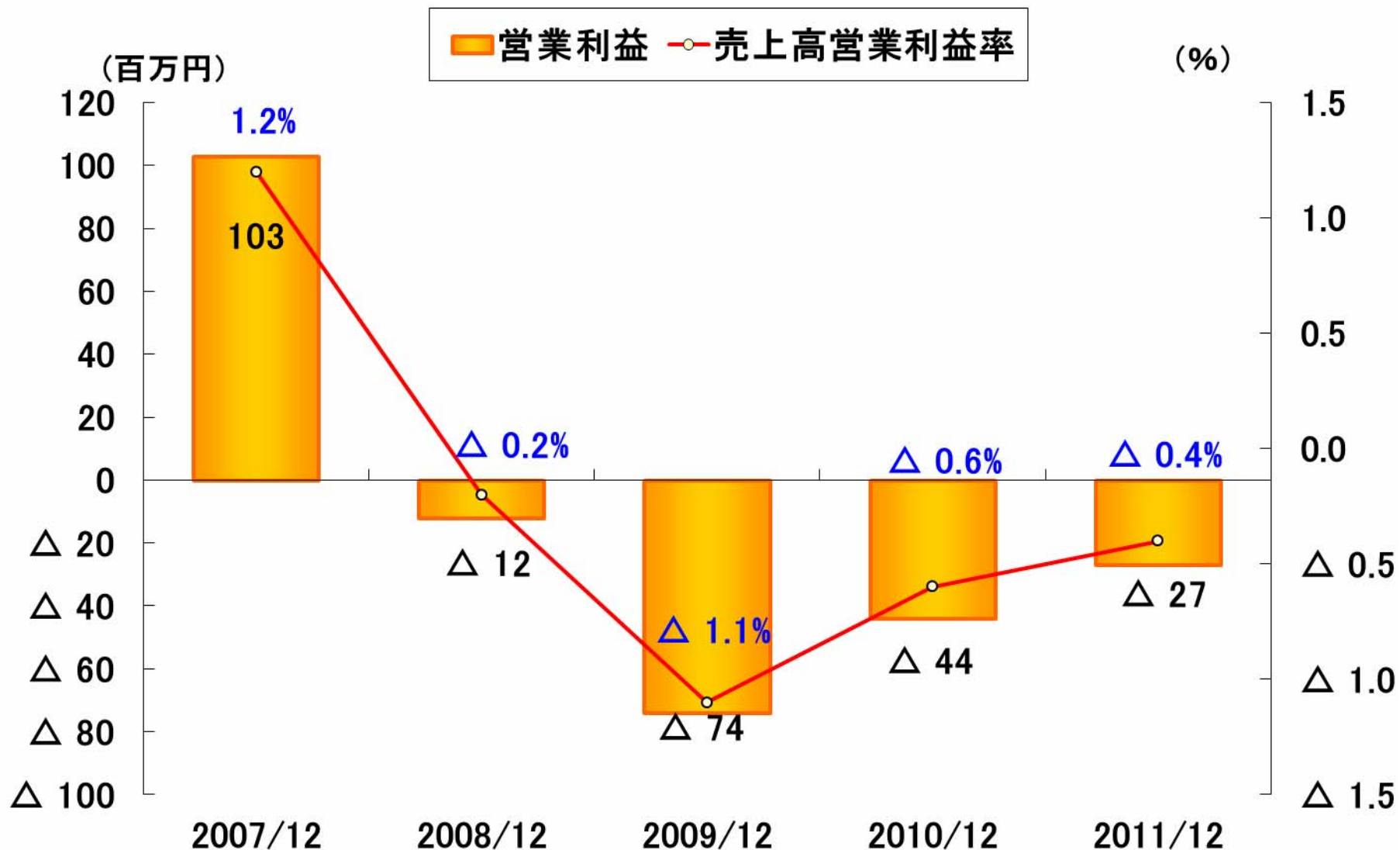
自己資本比率



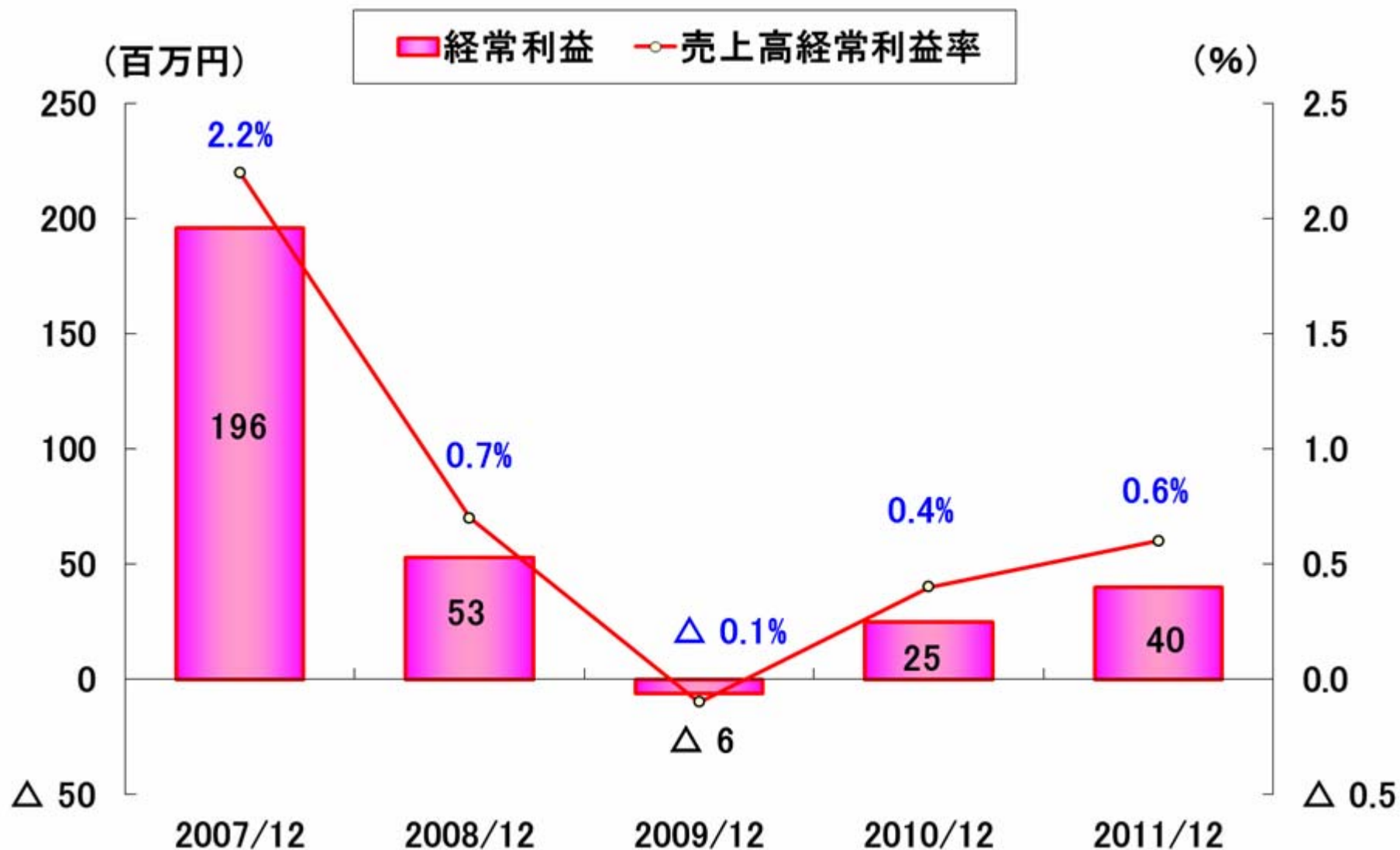
売上高の推移(第3四半期迄)



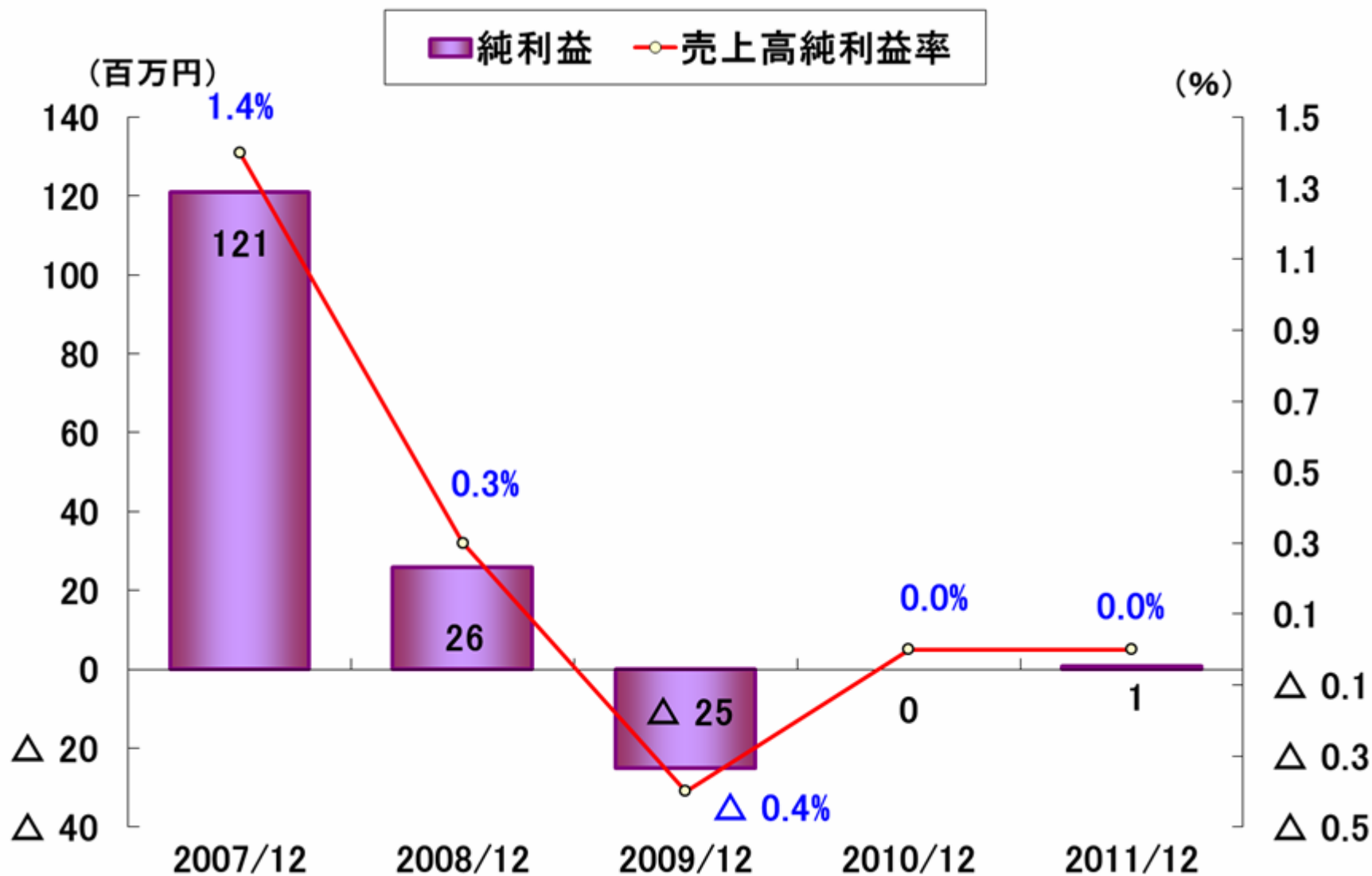
営業利益・売上高営業利益率の推移(第3四半期迄)



経常利益・売上高経常利益率の推移(第3四半期迄)



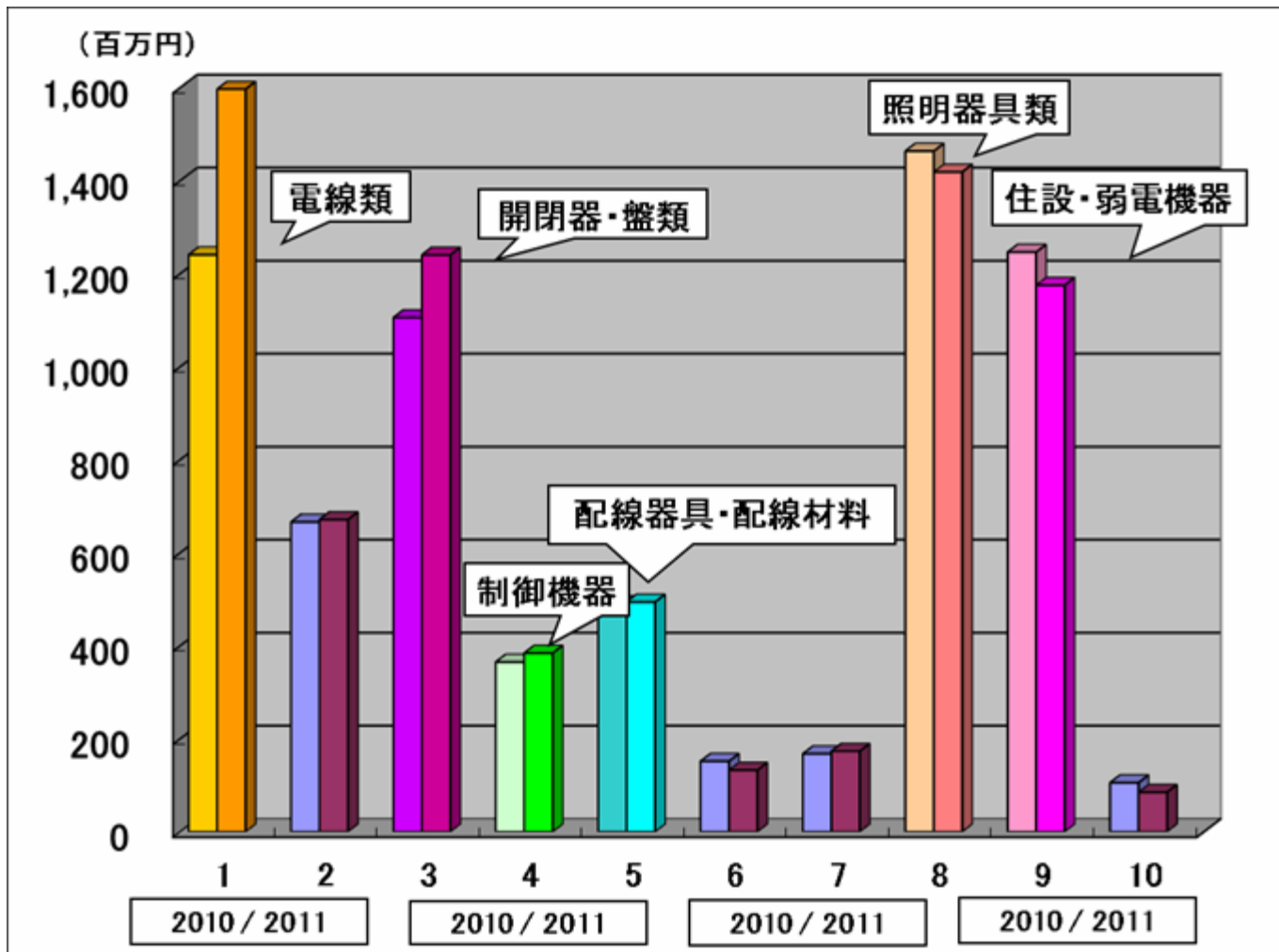
純利益・売上高純利益率の推移(第3四半期迄)



取扱主要品目別売上高(第3四半期比較)

(2010.3.21~2010.12.20 対 2011.3.21~2011.12.20)

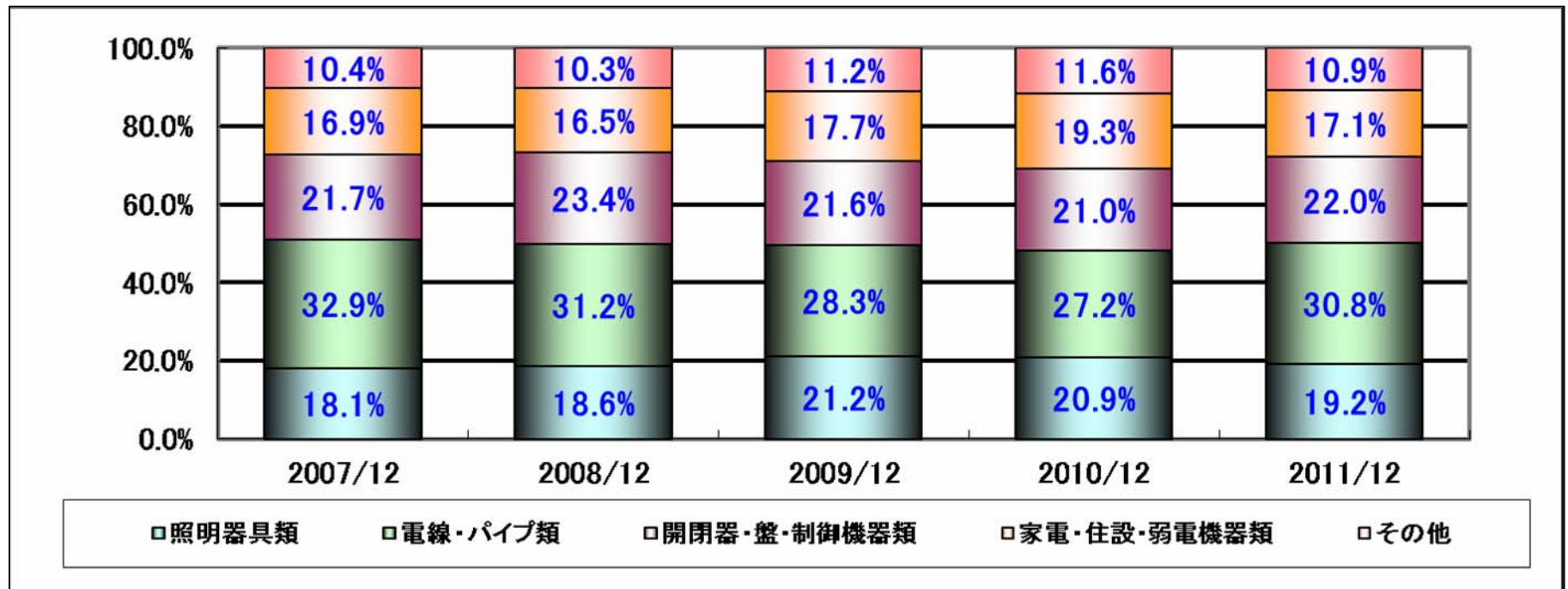
1	電線類
2	パイプ・付属品類
3	開閉器・盤類
4	制御機器
5	配線器具・配線材料
6	架線材料・碍子類
7	工具・計測器
8	照明器具類
9	住設・弱電機器
10	家電商品



品目別売上高の推移(第3四半期比較)

(単位:百万円)

	2007/12	2008/12	2009/12	2010/12	2011/12
照明器具類	1,607	1,474	1,389	1,463	1,418
電線・パイプ類	2,926	2,474	1,853	1,906	2,267
開閉器・盤・制御機器類	1,929	1,853	1,415	1,470	1,624
家電・住設・弱電機器類	1,496	1,310	1,159	1,351	1,260
その他	922	810	730	810	799
合計	8,882	7,924	6,549	7,001	7,370



2012年3月期.業績予想

2012年3月期 業績予想

	2012年3月期(予想)		2011年3月期(実績)	
	金額	前期比	金額	前期比
売上高	10,400	6.4%	9,778	6.9%
営業利益	5	—	△ 52	—
経常利益	80	75.1%	45	36.3%
当期純利益	40	457.2%	7	309.4%

(注) 2011年10月27日付け第2四半期決算短信の数値

重点課題戦略

AIKO NEXT 60

中期経営3ヶ年計画 2010年度

2010年度(第52期)～2012年度(第54期)

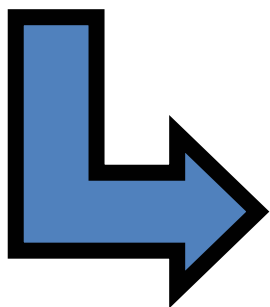
- ※ 創業60周年に向けてのメインテーマを「質的成長」とし、このテーマに向かって当社の成長戦略を描き、現状の重点課題に対する具体的な戦術・施策を推進してまいります。
これらを具体的に推進するための中期経営3ヶ年計画を「AIKO NEXT 60」とネーミングした。

■ 質的成長

AIKO NEXT 60 中期経営計画のメインテーマである「質的成長」に向かって、当社が継続的に成長・発展して行く成長戦略を描き、現状の重点課題に対する具体的な戦術・施策を立案するための基本方針並びに全体戦略を定める。



中期経営計画のメインテーマ
「質的成長」



テーマ実現へ向け、

2012年度は右記の項目を重点的に実施

成長性と収益性の両立

(1) 技術の愛光電気を目指す

(2) 販売先の新規開拓、既存得意先の
シェアアップ(提案営業の推進)

(3) 新たな市場・販売ネットワークの構築

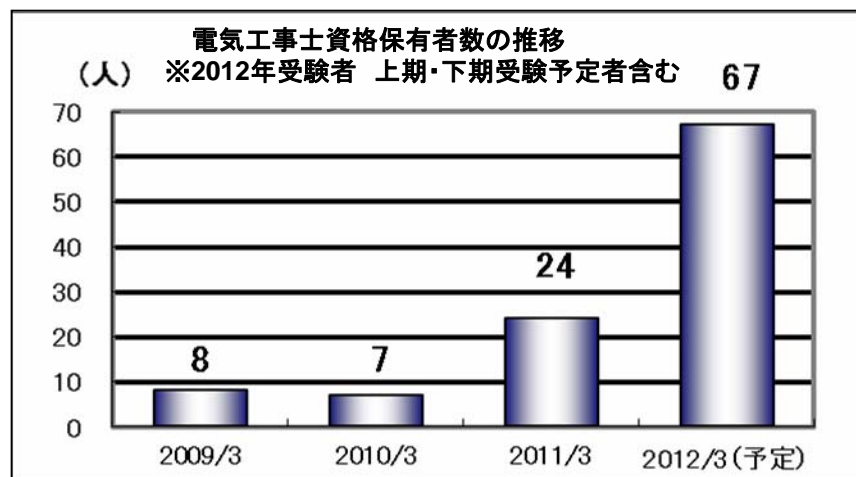
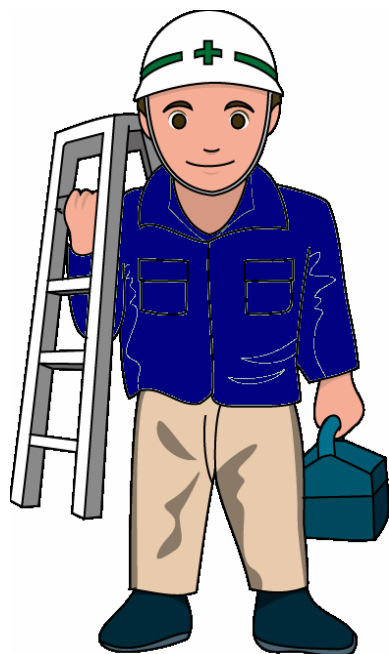
(4) ローコストオペレーション体制の構築

(5) 人財育成

2012年度 重点戦略(1)

1. 技術の愛光電気を目指す

- 収益確保には、価格面だけでは得られない信頼関係の構築が重要。
- そのためには、個々の得意先やその先の需要家または仕入先の側に立ち、その想定を超えるプロフェッショナルとしてのサービス提供が不可欠。



- プロフェッショナルに相応しい十分な商品知識や施工関連の周辺知識の習得を目指し、前期に引き続き全従業員に電気工事士等の専門資格取得を義務付け、技術の愛光電気を目指す。



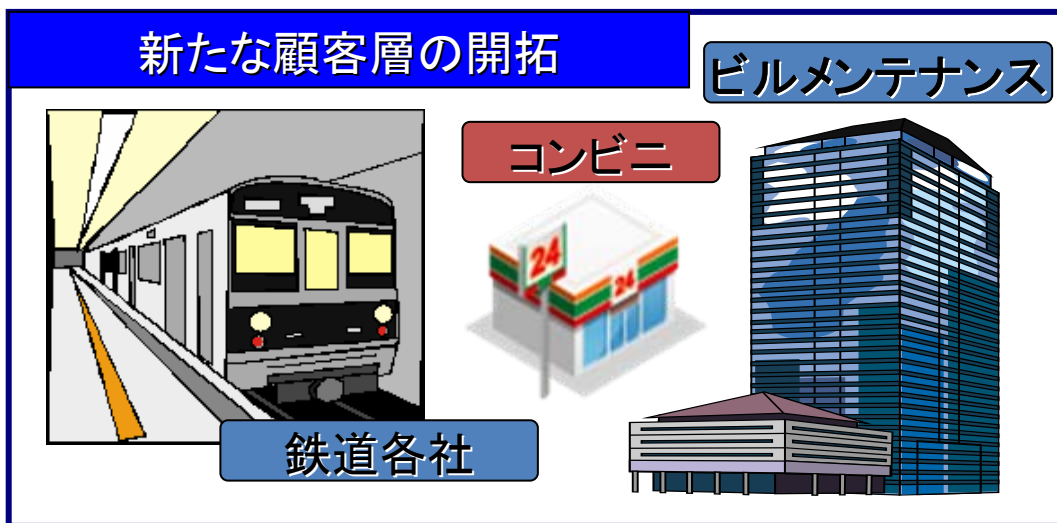
2.販売先の新規開拓、既存得意先のシェアアップ (提案営業の推進)

- 販売先の新規開拓による口座件数を増やすため各営業所に新規得意先の開拓件数と売上・粗利目標並びに既存得意先のシェアアップ目標を設定し、予算達成に向けたアクションプランを策定、実施する。
- 提案営業を推進するため得意先とのパートナーシップ関係を構築する。



3. 新たな市場・販売ネットワークの構築

- 直販事業の機構再編を行い、新商材、省エネ商材をベースに広域に営業展開を展開し、新たな市場の獲得を目指す。
- 特定メーカーとのアライアンスをもって、それに関わる工事業者との協業体制を強化し、新たな販売ネットワークを構築することで、ストック市場にも参入して行く。
- 新規事業展開が将来の事業拡大の礎になれるよう基礎を固めをして行く。



太陽光発電



α -FLASH



LED電球

4. ローコストオペレーション体制の構築

- 内部統制の強化を推し進めながら、業務の有効性・効率性をアップさせる。
- 業務プロセスの抜本的な改善・改革により、効率の高い営業活動を行なう。
- 常備在庫商品における全社的な在庫管理、発注業務の集約化を小田原商品センターを中核として、機能を充実させる。

小田原商品センター



基幹システムサーバ データセンター新設



データセンター

基幹システムサーバ・リニューアルを機にデータセンターに新設

BCP対策としてデータセンターの堅牢な構造、冗長化されたシステム、強固なセキュリティを活用

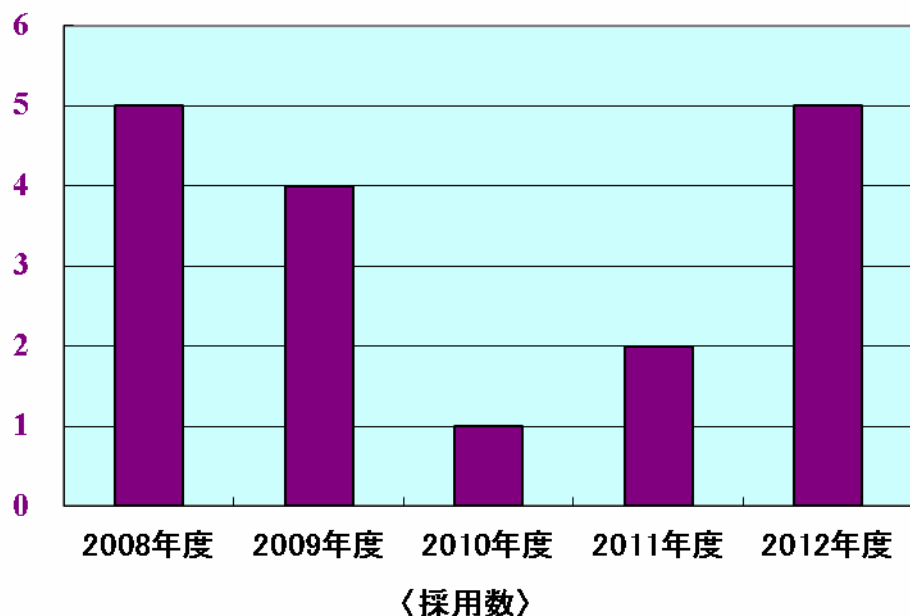
リモート監視によるサーバ管理の実現と新規プログラムを活用した、ローコストオペレーション体制とEDIによる業務コスト削減を推進



2012年2月末 本稼働予定

5.人財育成

- 企業を支える最も重要な要素は「人財」である。
- 質の伴った規模の拡大(含む店舗展開、アライアンス、M&Aを含む)を継続的に目指すには、人材育成が不可欠である。
- 営業部門、業務部、管理部門を問わず、部門横断的に適切な人員配置を積極的に実施し、新たな活躍の場の提供により成長を促すと共に、人財の層を厚くする。
- 人を通じて仕事の成果を上げるマネジメント力を強化する。



<参考資料>

企業プロフィール 経営理念・ビジョン

企業プロフィール

- 会社名** : 愛光電気株式会社【 AIKO Corporation 】
- 本社所在地** : 神奈川県小田原市西大友205-2
- 代表者** : 代表取締役社長 近藤 保
- 資本金** : 6億1,165万円(JASDAQ上場:証券コード 9909)
- 創 業** : 1953年(昭和28年)11月8日
- 設 立** : 1959年(昭和34年)10月8日
- 発行済株式数** : 4,411,000株
- 社員数** : 171名 (2011年9月20日 現在)
- 株主数** : 532名 (2011年9月20日 現在)
- 事業内容** : 電気製品、機械器具、資材の販売および修理、電気機械、器具取付工事の設計および 施工を主な事業とし、これに
附帯する一切の業務

拠点ネットワーク

神奈川県西営業部

小田原南営業所

小田原北営業所

平塚営業所

厚木営業所

神奈川県東営業部

横浜営業所

横須賀営業所

藤沢営業所

港北営業所

東静岡営業部

沼津営業所

伊東営業所

下田営業所

東京営業部

品川営業所

特販営業所

制御機器営業部

藤沢制御機器営業所

厚木制御機器営業所

港北制御機器営業所

環境事業営業部

営業一課

交通営業部

東京営業所

小田原商品センター



小田原本社ビル



取扱主要品目

取扱商品分類	主要品目
照明器具類	照明器具(住宅用・施設用・非常用・店舗用) 電球・蛍光ランプ・ハロゲン電球・水銀灯・点灯管
電線・パイプ類	高・低圧電力ケーブル・光ケーブル・LANケーブル・合成ゴム電線 警報用電線・耐熱用電線・耐火用電線 鋼管電線管・塩化ビニール電線管・各種電線管付属品・ケーブルラック
開閉器・盤・制御機器類	分電盤・受配電機器・高圧受電設備・ブレーカー 制御機器(FA関連機器・シーケンサ・インバーター)
家電・住設・弱電機器類	家電製品・住宅設備機器・通信機器・OA機器・音響機器 防災セキュリティ・ビル監視設備・太陽光発電システム
その他	配線器具・配線材料・架線材料・碍子・電柱・鋼管ポール・避雷針 工具・計測機器

照明器具



電線



電線管・付属品



盤



制御機器



住宅設備



配線器具



経営理念

『愛光電気株式会社は、電気機器電設資材総合商社として社会への貢献、企業の永続、社員の幸せの三つを調和させ、お客様、仕入先、愛光電気株式会社の三者が共に生成発展する三位一体の使命感経営を実践し続けます。』

AIKO10年ビジョン2003-2013

問屋から商社へ「電気の総合商社を目指したい」。



AIKO NEW WING PLAN

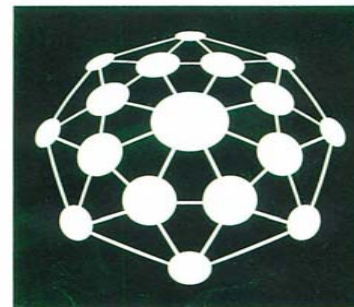
当社経営の礎

「社団法人倫理研究所」のライセンス認定企業プログラム『倫理 17000』に、全国4万社の会員企業の中から53社が認定され、愛光電気株式会社もその中の一社(第25号)として認定されています。(2004年9月1日交付)

倫理とは人間を幸福に導き、平和で豊かな社会を築く基本であり、道徳を超える生きた生活法則と捉えています。1974年(S.49)以来、社員全員が倫理研修に取組み、その実践を通して人間社会を幸福にするものとして社員一人一人に深く浸透しています。

その高い倫理観は、ビジネスパートナーからの評価も大変高く、コンプライアンスをはじめ、愛光電気の経営の大きな礎となっています。

倫理17000 認定証



RINRI 17000
CERTIFICATION

登録企業名 愛光電気 株式会社
所在地 神奈川県小田原市西大友205-2
代表者 近藤 保

貴社は、厳正なる審査の結果、付属書に記載される「倫理法人会憲章」の理念と活動指針に則った経営を行う模範企業であることをここに証します。

登録番号 第25号 登録日 平成17年 9月 1日
更新日 平成23年 1月 1日 有効期限 平成25年12月31日

倫理17000 審査登録委員会

社団法人倫理研究所 元キャノン株式会社 筑波大学
理事長 取締役相談役 教授(人文社会科学研究科)

丸山敏秋 渡川 精一 佐藤真悦

社団法人倫理研究所



お知らせ

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等と大きく異なる可能性があります。

本資料に関するお問合せ

愛光電気株式会社 経営企画室 IR担当

- TEL : 0465-37-2112
- FAX : 0465-37-2125
- E-Mail : ir@aiko-denki.co.jp

